

平成 25 年度 男女共同参画貢献表彰 受賞者決定！

3月18日（火）表彰式 & 記念講演を開催します！！

横浜市では、男女共同参画社会の実現に向けて積極的に取組み、身近な地域で地道な活動を積み重ね貢献してきた方々に対し、その活躍を称え市長から表彰いたします。併せて、昨年度の功労大賞受賞者の佐伯輝子氏（元寿町勤労者福祉協会診療所長）の記念講演を開催します。

男女がともに活躍できる社会について、一緒に考えてみませんか？

受賞者

功労大賞（個人2名）



はやかわ かずこ
早川 和子（ポリネシア舞踊研究家）

フラダンスの理解促進、身体表現を通じた女性の地位向上、地域経済の活性化に貢献。



ひうら みちえ
日浦 美智江（（社福）訪問の家 理事）

近隣学校との交流や地域住民のボランティア参加を通じて、障害者の社会参加推進に尽力。



昨年度の様子

推進賞（個人1名、団体1団体）



やまかわ えいこ
山川 英子（青葉区連合自治会長会 副会長）

女性リーダーとして地域の課題に取り組み、誰もが安心して暮らせる環境づくりを推進。



特定非営利活動法人 親がめ（地域子育て支援団体）

男性の育児参加の推進など、地域の子育て支援における男女共同参画を推進



昨年度の表彰式の様子

※功労大賞は長年にわたって取組を続けてきた個人・団体に、推進賞は今後の推進者として更なる活躍が期待される個人・団体に贈られる賞です。（詳細はチラシをご覧ください。敬称略・50音順）

参加者募集！

～ 表彰式・記念講演（インタビュー形式）～

【日時】平成 26 年 3 月 18 日（火）10：30～12：00（受付開始 9：30）

【場所】ワークピア横浜（中区山下町24-1）

【定員】150名（先着順、事前申込制）

【プログラム】

10：30～11：00 表彰式 林市長から表彰状贈呈

11：15～12：00 記念講演 佐伯 輝子氏（24年度功労大賞受賞者）

「女赤ひげ先生と呼ばれて ～寿のまちと歩んで～」

※申込方法の詳細についてはチラシをご覧ください。



※当日取材をご希望の場合は、3月17日（月）17時までに、下記までご連絡ください。

お問合せ先		
市民局男女共同参画推進課長	二見 尚子	Tel 045-671-3691

第3回
(平成25年度)

横浜市

参加者募集!

男女共同参画貢献表彰

横浜市は、男女が互いにその人権を尊重しつつ、喜びも責任も分かち合い、あらゆる分野に対等に参画できる「男女共同参画社会」の実現をめざしています。

この度、横浜市において、身近な地域などで地道な活動を積み重ね、男女共同参画社会の実現に向けて貢献してきた方々に対し、その活躍を称え市長から表彰させていただくこととなりました。

また、表彰式と合わせ記念講演を開催します。

功労大賞
受賞者

個人 ◆ 早川 和子
(ポリネシア舞踊研究家)

個人 ◆ 日浦 美智江
(社福訪問の家 理事) (敬称略)

推進賞
受賞者

個人 ◆ 山川 英子
(青葉区連合自治会会長 副会長)

団体 ◆ 特定非営利活動法人 親がめ
(子育て支援団体) (敬称略)

表彰式・記念講演

参加費無料
(事前申込制)
先着150名

日時 平成26年3月18日(火)
10時30分～(受付開始9時30分)

会場 ワークピア横浜
(中区山下町24-1)
アクセス 最寄駅:みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口 徒歩5分

プログラム

10:30-11:00 表彰式
林 文子市長から表彰状贈呈

11:15-12:00 記念講演(インタビュー形式)
「女赤ひげ先生と呼ばれて
～寿のまちと歩んで～」

【講師】 24年度功労大賞受賞者 佐伯 輝子氏

- FAXまたはEメールで、市民局男女共同参画推進課までお申込みください。
- 2月12日(水)より受付開始
定員(150名)になり次第受付終了
- 保育あり(1歳6ヶ月～未就学児・定員あり)
- 手話通訳あり(定員あり)
※申込方法の詳細は裏面にあります。



佐伯 輝子

1929年、東京生まれ。東邦大学医学部卒業。
58年に横浜市保土ヶ谷区で佐伯医院を開業。
その後、南部市場内に佐伯診療所を開き、79年からは寿町勤労者福祉協会診療所長を兼務。人間尊重の視点で地域医療に取り組み、女性医師活躍の可能性を示す。第二回男女共同参画貢献表彰「功労大賞」受賞。
吉岡弥生賞('84)、吉川英治文化賞('91)、横浜文化賞('94)など、藍綬褒章(2012)など多数の賞を受賞。著書に「女赤ひげバヤ街に純情す」など。

主催：横浜市 | 問合せ先：横浜市 市民局 男女共同参画推進課

☎045-671-2035 ☎045-663-3431 E-mail: sh-danjoseminar@city.yokohama.jp

第3回(平成25年度)横浜市男女共同参画貢献表彰受賞者



功労大賞

横浜市における男女共同参画社会の形成に向けた気運の醸成に顕著な功績のあった個人・団体、又は実践的な活動を積み重ね男女共同参画の推進に貢献してきた個人・団体を表彰します

はやかわ かずこ
早川 和子 (個人)

ポルネシア舞踊研究家。フラダンスの文化の理解促進に取り組み、映画のモデルとしても取り上げられ、女性による地域経済の活性化、女性の地位向上に大きな功績を残した。「ヘソだし腰振りダンス」と軽視されていたフラダンスの本来の意味(自然との対話、人と人とのコミュニケーション、文化・誇り)を伝え、フラダンスの普及に尽力。横浜市民レク・フラダンス市民の会名誉会長を務め、震災後の横浜市でのフラダンスを通じた活動は、横浜地域の活性化に大きな影響を与えた。

ひうら みちえ
日浦 美智江 (個人)

障害者通所施設「朋」元施設長。社会福祉法人「訪問の家」理事。重症心身障害者の地域社会への参加の必要性を説き、障害者通所施設「朋」を立ち上げ、福祉分野で長年にわたり活動に取り組む。家に閉じこもりがちな重症心身障害者が通所施設へ通うことで社会に出るきっかけをつくるとともに、通所施設での近隣学校との交流や、地元企業の支援、地域住民のボランティア参加を通じて障害者の社会参加を大きく進めた。施設の取組は、国のモデル事業として取り上げられ、全国へと普及し大きな影響を与えた。



推進賞

横浜市における先駆的、実践的な活動により今後の男女共同参画社会の推進者として活躍が期待される個人・団体を表彰します。

やまかわ えいこ
山川 英子 (個人)

青葉区連合自治会長副会長。青葉台地区連合自治会長。女性リーダーとして地域の課題に取り組むほか、策定委員長として「青葉区地域福祉保健計画」を取りまとめる。学校運営や地域活動において、女性の活躍の可能性を自ら示し、女性への積極的な勧奨を行うことで、地域活動へ参画する女性を支援している。地域の催し物や、民間施設と行政の橋渡し役を担い、地域での顔の見える関係づくりを進め、子どもから高齢者まで、あらゆる人が安心して暮らせる環境づくりへの推進力となっている。

特定非営利活動法人 親がめ (団体)

子どもがいきいきと過ごし、育ち合っている地域社会の実現を目指す団体。地域で様々な自主活動をしている人達が繋がって、長く地域に根付く子育て支援を、行政との協働を通じ、区域全体に広げた。地域子育て支援拠点等を運営し、男性の育児参加にも取り組んでいる。長期的な視点にたった「地域での子育て」を継続できるよう、地域の乳幼児とその保護者が集う「親子のたまり場」である『すくすくかめっ子』の担い手向けの研修会等を行い、地域全体で子育て家庭を支える活動に取り組んでいる。

表彰式・記念講演の参加申込方法

- FAX または Eメール でお申込みください。(2月12日より)
- FAXは、下記の申込書に記入の上、お送りください。

- Eメールの場合は、下記FAX用紙と同じ内容を入力の上お送りください。
- 定員を超えた場合は、こちらからご連絡します。

FAXの場合 下記を記入の上そのまま
FAX 045-663-3431 (横浜市民局男女共同参画推進課あて)

Eメールの場合 下記と同じ内容を入力しこちらへ
E-mail : sh-danjoseminar@city.yokohama.jp

横浜市男女共同参画貢献表彰 表彰式・記念講演 参加申込書 (FAX申込書)

<p>お名前 ふりがな _____</p>	<p>電話番号 _____</p>
<p>住所 〒 _____</p>	<p>FAX番号 _____</p>
<p>その他</p> <p>ご希望の方はチェックを入れてください。</p> <p><input type="checkbox"/> 車椅子でのご来場</p> <p><input type="checkbox"/> 手話通訳</p> <p>※手話通訳希望の場合は3月13日(木)までにお申し出ください。 ※希望者多数の場合はご希望に添えない場合があります。</p> <p><input type="checkbox"/> 託児(お子様の名前 _____ ・年齢 _____ 才 _____ か月)</p> <p>※1歳6か月から小学校就学前までのお子様とさせていただきます。 ※託児希望の場合は、3月13日(木)までにお申し出ください。 ※希望者多数の場合はご希望に添えない場合があります。</p>	

*定員に達した場合は、受付をお断りする場合がございますのでご了承ください。*ご連絡いただいた個人情報は当該催しの運営業務のみに使用し、終了後速やかに廃棄いたします。